

令和6年度第1回県立障がい福祉施設評価員会議 議事要旨

- | |
|-------------------------------|
| 1 日時： 令和6年8月26日(月)13:00~16:30 |
| 2 場所： ひまわりの丘第一学園 会議室 |
| 3 議題： 令和5年度の事業報告について |

【主なご質問・ご意見】

※出席者分のみ

<ひまわりの丘>

《評価員からの質問・意見》

- ①中長期的な観点から、今後大きな課題となることは何か。(A評価員)
- ②コロナ禍からの回復は、どのような状況となっているか。(A評価員)
- ③利用者への対応について、主体性の観点からどのように対応したか。(B評価員)
- ④現場の方には、利用者の声を聞いて、施設の良さや課題を発出して行ってほしい。
(C評価員)
- ⑤見守りカメラはどこにおいてあってどこを見ているのか。(E評価員)
- ⑥朝礼は、現在は実施できないのか。(B評価員)

《指定管理者からの回答》

- ①子供たちの意思決定を引き出すことが困難な点。入所定員40名に対し、現員に余裕はあるが使用できる部屋がなく、これ以上の受け入れができない点。職員が不足している点。
- ②家族の面会状況はコロナ禍前までは回復していない。一方で外出はしやすくなり、利用者の楽しみは増えている。
- ③行事の実施等において、原稿の作成や進行などを職員がフォローしながら、利用者自身に行ってもらった。
- ⑤共有部分のプレイルームと廊下に設置し、居室は写さないようにしている。また、録画の確認ができるのは園長室のみとしている。
- ⑥以前と実施方法の変更はあっても、現在でも全くやっていないことはないと思っていた。もう一度職員に働きかけてみたい。

<みどり荘>

《評価員からの質問・意見》

- ①中長期的な観点から、今後大きな課題となることは何か。(A評価員)
- ②コロナ禍からの回復は、どのような状況となっているか。(A評価員)
- ③職員の体調不良等による業務軽減に対して、チームとしてどのように対応しているか。
(B評価員)
- ④職員の退職に対して、どのように対応しているか。(B評価員)

- ⑤様々な障がいを持った人が何を望んでいるか、それを念頭に施設の在り方を検討して欲しい。(C評価員)
- ⑥人事における評価は、どのように行っているのか。(E評価員)
- ⑦チューター制度とは、どのようなものか。(E評価員)
- ⑧施設の老朽化により、今一番困っていることは何か。(E評価員)
- ⑨チューター制度には課題点はないか。(B評価員)

《指定管理者からの回答》

- ①施設の老朽化。専門性の高い職員の養成。
- ②大学生の実習の受け入れなどで、コロナ禍前のような十分な対応ができています。
- ③変則勤務の場合、まずは夜勤の免除を行う。現場でもこういった状況への理解はできており、快く勤務の調整に応じていただいている。
- ④人事評価の面談の時などにおいてできる範囲の聞き取りを行って、配慮ができるところは配慮するようにしている。
- ⑥人事評価は、役職に応じて求められる基準が異なり、規定の中で定められている。それに基づいて評価を行うが、メンタルのことなど数字で算出できないことは別で報告する。
- ⑦なるべく年齢の近い職員を新人への指導者として担当させ、チューターと呼んでいる。チューターが新人を指導する能力も含めて、この制度を人材育成に活用している。
- ⑧お風呂が一番困っている。関節の可動域が足りないことや立位が保てないことにより、湯船につかれない利用者が多くなっている。
- ⑨報告文書を作成するのに時間がかかり、どうしても時間外になることがある。

<はなの木苑>

《評価員からの質問・意見》

- ①中長期的な観点から、今後大きな課題となることは何か。(A評価員)
- ②コロナ禍からの回復は、どのような状況となっているか。(A評価員)
- ③自然災害に対する利用者や利用者家族への教育は行っているか。(B評価員)
- ④これからの施設の在り方について、利用者の傍で意見を引き出しながら、考えていっていただきたい。(C評価員)
- ⑤ヒヤリハット集というのは、どういうものか。(E評価員)

《指定管理者からの回答》

- ①利用者の男女比率の問題により、利用者の入所施設についての検討が必要な点。職員の業務スキルの点。
- ②活動等は復活してきているが、コロナ禍前を語れる人も少なくなっているため、今からどんなことができるのかを考えていく必要がある。
- ③家族には施設ではこういうことをしていると伝えてはいるが、教育はしていない。利用者には避難訓練の時などに、災害時の対応についてその都度話をしている。
- ⑤事故発生の直前でそれを回避できた状況を「ヒヤリハット」と呼んでいる。それを記録し集

めたものがヒヤリハット集であり、皆でヒヤリハットの状況を分析し共有して事故防止に努めるために活用している。

<陽光園>

《評価員からの質問・意見》

- ①中長期的な観点から、今後大きな課題となることは何か。(A評価員)
- ②コロナ禍からの回復は、どのような状況となっているか。(A評価員)
- ③オンラインを利用した取り組みについて、今後はどうしていく予定か。(B評価員)
- ④入所施設が果たしてきた役割を大事にして、今後の施設のあり方について意見を持ち、反映させていってほしい。(C評価員)
- ⑤定員を減らしたことで、良かったことと悪かったことは何か。(E評価員)
- ⑥入所者の健康管理はどのように行っているか。(E評価員)

《指定管理者からの回答》

- ①職員が不足している点。施設利用の待機者がいない点。施設の老朽化。
- ②外部のボランティアが少しずつ戻ってきている。次回の大きな行事では外部の方も加える予定で、これによりコロナ禍前の状況に戻ると考えている。
- ③利用者が外部との接触を対話しながらできるので、魅力に感じている。今後は範囲を拡大してオンラインを活用していきたい。
- ⑤良かったことは、ゆったりとした生活の流れが以前よりできていることがある。悪かったことは、職員数も減っているので、一人当たりの業務量はあまり変わっていないことがある。
- ⑥定期的にレントゲンや採血などの健康診断を受診しており、また検温や血圧測定を毎日行っている。これらにより異常が認められれば、通院することとなる。

<三光園>

《評価員からの質問・意見》

- ①中長期的な観点から、今後大きな課題となることは何か。(A評価員)
- ②コロナ禍からの回復は、どのような状況となっているか。(A評価員)
- ③パンフレットやホームページを利用した地域社会等への広報は、どんなことを意図して行っているか。(B評価員)
- ④担当職員を中心とした利用者ニーズの聞き取りとは、具体的にはどのように行うのか。(B評価員)
- ⑤職員の満足度について、確認したことはあるか。(C評価員)
- ⑥コロナ禍が終わり、利用者はどのようなことを話しているか。(E評価員)
- ⑦職員としてのやりがいは、利用者の声を聞きそれを実現していくことにあると思う。そうすることで、利用者の幸せにつなげていってほしい。(C評価員)

《指定管理者からの回答》

- ①施設の老朽化。利用者の高齢化の進行。職員の確保の問題。退所後の次の利用者確保の問題。身体障がい者と知的障がい者の共同生活の問題。
- ②コロナ禍前の状態に完全に復活してはいないが、昨年度から徐々に活動を広げている。
- ③まずは三光園を知っていただくことを重点にし、タイムリーな情報提供を行っている。
- ④担当が日々出勤したときには必ず利用者とのコミュニケーションをとり、本人の思いを汲み取っていく。そういった基本的なところから重点的に取り組んでいる。
- ⑤職員の満足度は年に1回調査しており、ストレスチェックも年に1回調査している。その結果を基にして職員の負担を減らしていく取り組みを行っている。
- ⑥外出のことなど自分のやりたいことを伝えることが多くなっている。

<サニーヒルズみずなみ>

《評価員からの質問・意見》

- ①中長期的な観点から、今後大きな課題となることは何か。(A評価員)
- ②コロナ禍からの回復は、どのような状況となっているか。(A評価員)
- ③職員募集においては、「無資格でもいい」ではなく「資格取得ができる」との記載にした方がよいと思った。(B評価員)
- ④利用者が望んでいるのは、機器によって助けられるのではなく、人と人との付き合いだとか、人に接するだとか、そういう部分だと思うので、大事にしてほしい。(C評価員)
- ⑤緊急短期入所とはどのようなものか。緊急というのはどういう基準なのか。(E評価員)
- ⑥緊急短期入所が適用された場合、事業費はどうか。(C評価員)

《指定管理者からの回答》

- ①職員の確保。土地柄、愛知県との競合が発生するので採用が難しいところがある。
- ②コロナから5,6年が経過しているので前に戻すというより作り直すに近い。ボランティアの方への声掛けなどを続けていきたい。
- ⑤在宅で生活されている障がい者の方の両親が事故で入院した場合など、緊急の短期入所が必要な場合に、行政の判断により契約等不要で入所が認められる制度をいう。
- ⑥後から申請して支給されることとなる。

<幸報苑>

《評価員からの質問・意見》

- ①中長期的な観点から、今後大きな課題となることは何か。(A評価員)
- ②コロナ禍からの回復は、どのような状況となっているか。(A評価員)
- ③「人権への配慮」のためには、職員が利用者にふさわしい言葉での言葉かけを行うことや、普段とは異なる視点からの気づきを大切にすることが必要だと考える。(B評価員)
- ④三光園とは隣り同士だが、それぞれの障がいの状態に応じた生活の場であり生きがいの場である。今後どのような形で残していくべきかを検討する必要がある。(C評価員)
- ⑤事業報告書に「令和4年10月に1件」と記載のある「県民・施設利用者からの意見・提

言等」とはどのような内容だったか。(E評価員)

- ⑥施設の収益を上げることの前提には、多くの方の施設への理解が一番大事だと思う。余裕があれば、理解の幅を広げるような活動も行っていくと良いと思う。(B評価員)

《指定管理者からの回答》

- ①利用者が減少しており、新規利用者も見込めていない。また、それに伴う職員数の増減の問題。
- ②昨年度は食事や家族の面会のための外出を再開した。それから徐々に、買い物外出や家族と一緒にの外出も再開している。
- ⑤すぐには回答できないため、後日調べて回答する。
→資料の誤りであり0件が正しいことが判明。8/26 事務局から資料の訂正を連絡した。